

---

## 参 考 資 料

---

- 京都府職業能力開発審議会委員名簿
- 第8次京都府職業能力開発計画の審議経過
- 人づくり・ものづくり いきいきプラン(中間案)  
に対する主な意見

# 京都府職業能力開発審議会委員名簿

(平成17年11月18日現在)

○印は、計画策定部会所属の委員を示す。

## ■委員 (15名)

	あかさか けんじ 赤坂 賢志	自動車総連ダイハツ労働組合京都支部長
	いなば しんじ 稲葉 伸二	連合京都副事務局長
<会長職務代理、部会長>	きたざわ やすお ○ 北澤 康男	甲南大学名誉教授
	きたむら のりこ 北村 統子	連合京都女性委員
	ささき ひとみ (佐々木 史)	(連合京都女性委員会事務局長)
	ささお しゅうじ 笹尾 修司	化学一般労連京滋福地方本部執行委員
	しかた みちこ 四方 みち子	京都府連合婦人会理事
	たなか たかし 田中 隆司	丹後機械工業協同組合相談役
	たなか たづこ 田中 田鶴子	学校法人大和学園名誉学園長
	ついで きよこ ○ 筒井 清子	京都産業大学名誉教授
	にしだ きよこ 西田 喜代子	ディースファッション専門学校校長
<会長>	はまさき まさき ○ 濱崎 正規	立命館大学名誉教授
	ふじい ひろゆき ○ 藤井 浩之	京都府職業能力開発協会副会長
	まえだ よしこ 前田 良子	京都府中小企業女性中央会会長
	みやがわ おさむ ○ 宮川 治	JAM京都執行委員長
	むらかみ しんいちろう 村上 晨一郎	日本電池株式会社相談役

## 提言を検討するに当たって各部門の状況等についてお話しを伺った方

おおやなぎ のびや 大柳 展也	大柳製作所(神仏鋳金具)
おかだ ひろゆき 岡田 洋之	府若年者就業支援センターキャリアカウンセラー
かめぐち こういち 亀口 公一	乙訓若竹苑苑長
さとう としゆき 佐藤 敏幸	株式会社島津製作所基盤技術研究所主幹研究員
しもで ゆうたろう 下出 祐太郎	下出時絵司所(京時絵 漆芸)
すぎはら やすお 杉原 康夫	京都府障害者雇用促進協会専務理事
ながの ひろしげ 永野 弘重	京都ジョブサポートセンター所長
ふるかわ あきら 古川 彰	立命館大学経済学部教授
まつもと きみお 松本 公雄	府立丹波養護学校教頭
やまだ ひろゆき 山田 宏行	ヤングジョブスポットきょうと(京都市中京青少年活動センター)チーフユースワーカー
よこうち るりこ 横内 るり子	京都労働局雇用均等室長

(注1) 敬称略

(注2) 50音順

(注3) [ ] 書きは前任の委員

## 第8次京都府職業能力開発計画の策定に向けた提言の審議経過

区分	開催日 (開催場所)	内容等
審議会	平成16年11月18日 (私のしごと館)	審議事項：第8次計画策定の方針等について (計画策定部会を設置)
策定部会 (第1回)	平成17年1月27日 (府公館)	審議事項：府の障害者職業能力開発について
策定部会 (第2回)	平成17年3月3日 (京都高等技術専門学校)	審議事項：授産施設等における自立訓練について 養護学校における職業教育について
策定部会 (第3回)	平成17年3月31日 (府公館)	審議事項：今後の職業能力開発施策検討に当たっての踏まえるべき 社会情勢について
策定部会 (第4回)	平成17年4月28日 (平安会館)	審議事項：障害のある人の職業能力開発施策のあり方 (部会報告中間案)等について
策定部会 (第5回)	平成17年5月19日 (府公館)	審議事項：障害のある人の職業能力開発施策のあり方 (部会報告中間案)等について
審議会	平成17年6月13日 (平安会館)	審議事項：計画策定部会中間報告について
策定部会 (第6回)	平成17年7月7日 (府公館)	審議事項：女性の職業能力開発について
策定部会 (第7回)	平成17年7月29日 (平安会館)	審議事項：若年者の職業能力開発について
策定部会 (第8回)	平成17年9月1日 (府公館)	審議事項：先端産業の職業能力開発について
策定部会 (第9回)	平成17年9月13日 (府公館)	審議事項：伝統と文化のものづくり産業の職業能力開発について
策定部会 (第10回)	平成17年10月13日 (府公館)	審議事項：第8次京都府職業能力開発計画提言(素案)について
審議会	平成17年10月27日 (平安会館)	審議事項：第8次京都府職業能力開発計画提言(案)について

\*平成17年11月18日に京都府職業能力開発審議会会長から京都府知事に「第8次京都府職業能力開発計画の策定に向けた提言」を提出

## 人づくり・ものづくり いきいきプラン (中間案)に対する主な意見

- 意見募集期間  
平成17年12月16日(金曜日)から平成18年1月15日(日曜日)まで
- 意見提出数 12名(23件)

項目	意見の要旨
職業的自立ができない若年者の増加	若者の早期離職の割合が高い背景には、賃金や労働時間等の労働条件など、労働者の雇用環境が厳しさを増していることや、企業における人材育成機能の低下などの事情があるのではないかと。 非正規雇用の増加は、中核的業務は正社員、定型的業務は非正規雇用の方針を各企業が打ち出していることと、経済のグローバル化により競争が厳しい中、使い勝手の良い労働力を求めているからではないかと。
女性の職業能力開発	就職希望者は多いが、就職に結びつかないのは、女性の働く環境が整っていないことが一番大きな問題ではないかと。例えば育児・介護休業制度ができて、男性の取得はほんのわずかで、法律はできて結局は女性に負担がかかっている。
若年者の職業能力開発	若年者の就労意欲の欠如について、もっと在学中(義務教育期間)における職場実習・インターンシップを活用し職業観を身につける必要があるのではないかと。 一人ひとりが個性を生かすことができる職業に就けるのは限られた方だけではないかと。むしろ仕事に耐えうる能力を養うことを目標にしなければ、若年者(特にニート、フリーター)に誤ったメッセージを送ることになる。
障害のある人の職業能力開発	現在の訓練は、障害種別ごと、また限られた分野のみの狭いものになっている。個人個人の能力により応じた訓練コースが必要である。 障害のある方の訓練を実施するとともに、障害のない人に比べ就職率が低い障害のある人に対して特に就職支援にも力を入れてほしい。 障害のある方の一般校での訓練(モデル事業)をぜひ継続してほしい。
技能を尊重する気運の醸成	製造業やエンジニアが社会的に低く見られているように感じます。優れた技術者を表彰するなど、是非、技能を尊重する気運を醸成していただきたい。
公共職業能力開発施設における職業能力開発の推進	高等技術専門学校は、貴重な人材を供給してくれるところである。高齢者の退職により、今後若い人々を求める企業がどんどん増えると思うが、それに対応する人数を送り出せるように、また、より多くの訓練科を設置し各企業が望む人材を育成してほしい。 若年者への就職の支援をどこまで行政が行う必要があるのでしょうか。ここに税金を使うのなら、もっと教育のレベルに金を使うべきではないでしょうか。
府立高等技術専門学校における職業能力開発	公共職業訓練はテキスト等の教材費負担のみで訓練を受講できると聞いています。このような機会を与えていただける貴重な場をなくさないでほしい。 パソコン教室なんかに通うと授業料が何万円もするようなコンピューター関係の訓練が、府立の高等技術専門学校に通えば無料で受けられる。税金の無駄使いではないのですか。 若年者、高齢者、健常者、障害者、在職者、無業者にとらわれず職業能力開発の促進が必要である。今までにも様々な訓練・養成機関はあったものの、実際には、「知らない、わからない」などによりうまく活用できていなかったのではないかと。
キャリアアップ支援ネットワークの形成	NPOと連携した施策が計画されていますが、まずは、若年者、女性、高齢者や中小企業の技能継承等の様々な課題について、関係するNPO等が参画する意見交換の場を設定する中から、幅広いネットワークづくりが進められることを望む。

# 人づくり・ものづくり いきいきプラン

— 第8次京都府職業能力開発計画 —

発行 京都府府民労働部能力開発課  
〒602-8570  
京都市上京区下立売通新町西入藪ノ内町  
TEL：075-414-5105  
〈能力開発課ホームページ〉  
<http://www.pref.kyoto.jp/noryoku/>